

2018年9月9日（日）メッセージアウトライン「神のわざと私たちの働き」

聖書箇所：創世記1：29～2：2、2：15

タイトル：「神のわざと私たちの働き」

テーマ：あなたにとって、仕事は苦役にも等しいでしょうか、それとも喜びでしょうか。あるいは、自己実現の手段でしょうか。

私たちは誰もが何かしらの仕事（Work）に携わっています。子供たちが学びながら成長していくのも「Work」（勉強する）です。

ひょっとして、仕事はアダムとエバが神に背いた結果、人間に課せられた労苦だなどと考えたことはありませんか。全く、そうではありません。

働くことは創造の初めから、神が私たちにお示しくださった喜びのわざ（Work）です。

私たちは私たちに与えられた仕事を喜びとしているのでしょうか。創世記1章に記された神のみわざ（Work）と人間に与えられた働きについて考えてみましょう。

1. 神の創造のわざとその完成

- ①第一日目から第七日目まで
- ②被造物の必要を備えられた神
- ③神の満足と喜び
- ④神の創造のみわざの目的

2. エデンの園で

- ①神は人に仕事をお与えになった（創世記2：15）
- ②罪が入ったあと
 - ・地は呪われた
 - ・仕事は呪われていない

3. 神は今も働いておられる

- ①「わたしの父は今も働いておられる」（ヨハネ5：17）
「ですからわたしも働いているのです。」とイエスは言っておられる
- ②詩篇121：1～4

「私は山に向かって目を上げる。私の助けはどこから来るのか。私の助けは主から来る。天地を造られたお方から。主はあなたの足をよろけさせず、あなたを守る方はまどろむこともない。見よ。イスラエルを守る方はまどろむこともなく、眠ることもない。」

- ②復活のキリストは、聖霊によってクリスチャンをとおして今も働いておられる

4. 私たちの働きとは？

①私たちの主にある働きが神に祝福されていることを信じて

*日ごとの糧を得るために

*主の福音を宣べ伝えるために

②忘れてはいけないこと

5. 結論

①神のご栄光を現わすために

②神の壮大なプロジェクトの一員として

③神のみわざに示された神の愛とご性質